

看護職の皆様へ

看護職の勤務環境に関するアンケート調査へのご協力をお願い

厚生労働省委託事業「医療勤務環境改善マネジメントシステムに基づく
医療機関の取組に対する支援の充実を図るための調査・研究」検討委員会
委員長 酒井 一博(公益財団法人大原記念労働科学研究所)

1. アンケート調査の目的とお願い

平成 26 年の医療法改正により、各医療機関では医療従事者の勤務環境の改善に取り組むことが努力義務とされました。厚生労働省では、医療従事者の皆様が健康で安心して働けるよう、その勤務環境の改善に取り組む医療機関を支援しています。

その一環として、厚生労働省委託事業による当委員会では、平成 27 年度から病院の勤務環境改善の取組状況や勤務実態のアンケート調査を実施し、看護職の勤務環境の実態を公表するとともに、医療従事者の勤務環境改善の更なる推進方策等の提言を行っています。

今年度も、医療従事者の「働き方・休み方」の現状や勤務環境改善の取組への評価等について継続的に把握するためアンケート調査を実施することとしました。本アンケート調査は、今後の施策の方向性の検討等に活用される大変重要なものです。

回答内容については、統計処理の上、公表や都道府県等への情報提供を予定しています。なお、アンケート調査は無記名であり、回答者が特定されたり、回答者ごとの回答が個別に明らかにされることは一切ありません。

については、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、令和元年 9 月 20 日(金)までに、「2. 回答方法」に従って回答いただきたく、ご協力のほど何とぞよろしくお願いいたします。

2. 回答方法

(1) 途中で WEB ブラウザの「戻る」や「更新」ボタンは押さないようにご注意ください。

(2) 回答開始から 1 時間以内にお答えください。

※1 時間以上離席をされる場合は必ず、画面上部または下部にある「一時保存し終了する」ボタンを押してください。

「途中再開用のパスワード」が発行されます。

※画面上で、希望するメールアドレスにパスワードを送信することも可能です。

(3) 回答を再開する場合は、本アンケートのログイン画面にアクセスし、「途中再開用のパスワード」を入力してください。

途中保存したページから再開することができます。

3. アンケートの回答期限: 令和元年 9 月 20 日(金)まで

4. 本件に関する問い合わせ先

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-1-22 5F

株式会社日本能率協会総合研究所 福祉・医療・労働政策研究部

担当: 中村、笠原 TEL(フリーダイヤル): 0120-304-603(平日 10:00~17:00)

回答者選定条件

夜勤を行っている、フルタイム勤務の正規職員である看護職(看護部長、看護師長などの管理職は除きます。)

●黄色の着色部分は条件により表示されます。

問 1. あなたの年齢を教えてください。(1 つに○)

1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代以上

問 2. あなたの性別を教えてください。(1 つに○)

1. 女性 2. 男性 3. その他・答えたくない

問 3. あなた自身の主な勤務形態を教えてください。(1 つに○)

1. 3交代制(変則含む) ※
2. 2交代制(変則含む) ※
3. 夜勤専従
4. 夜勤シフトに入っていない
5. 日勤のみ
6. それ以外()
7. わからない

※:交代制勤務には24時間を2つのシフトに分ける「2交代制」や「3交代制」がある。各シフトの長さがほぼ均一なタイプのほか、変則的なタイプ(夜勤時間9~10時間の変則3交代制、夜勤時間13~16時間の変則2交代制など)がある。

問 4. あなたの現職種におけるキャリア(通算経験年数)を教えてください。なお、休職をした場合は、その期間は含めず、回答してください。(1 つに○)

1. 1年未満 3. 3年未満 5. 10年未満 7. 20年以上
2. 2年未満 4. 5年未満 6. 20年未満

問 5. 現医療機関におけるあなたの勤務年数を教えてください。なお、休職をした場合は、その期間は含めず、回答してください。また、現医療機関を一度辞めている場合は、辞める前の勤務年数は含めずに回答してください。(数字を記入)

()年

問 6. あなたが主に専門としている診療科（最も時間を費やしている診療科）を教えてください。（1つに○）

- | | | | | |
|----------------|------------|-----------------|-------------|----------------|
| 1. 内科 | 9. 皮膚科 | 17. 呼吸器外科 | 25. 整形外科 | 33. 婦人科 |
| 2. 呼吸器内科 | 10. アレルギー科 | 18. 心臓血管外科 | 26. 形成外科 | 34. リハビリテーション科 |
| 3. 循環器内科 | 11. リウマチ科 | 19. 乳腺外科 | 27. 美容外科 | 35. 放射線科 |
| 4. 消化器内科（胃腸内科） | 12. 感染症内科 | 20. 気管食道外科 | 28. 眼科 | 36. 麻酔科 |
| 5. 腎臓内科 | 13. 小児科 | 21. 消化器外科（胃腸外科） | 29. 耳鼻いんこう科 | 37. 病理診断科 |
| 6. 神経内科 | 14. 精神科 | 22. 泌尿器科 | 30. 小児外科 | 38. 臨床検査科 |
| 7. 糖尿病内科（代謝内科） | 15. 心療内科 | 23. 肛門外科 | 31. 産婦人科 | 39. 救急科 |
| 8. 血液内科 | 16. 外科 | 24. 脳神経外科 | 32. 産科 | 40. その他 |

問 7. 貴医療機関の開設主体を教えてください。（1つに○）

1. 国等（厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構、その他(国の機関)）
2. 地方公共団体等（都道府県、市町村、地方独立行政法人）
3. 公的医療機関（日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会）
4. 社会保険関係団体（健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合）
5. 医療法人
6. 個人
7. その他（公益法人、私立学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人）

問 8. あなたが主に勤務する病床機能を教えてください。（1つに○）

1. 高度急性期
2. 急性期
3. 回復期
4. 慢性期

高度急性期：急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能
急性期：急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能
回復期：急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能等
慢性期：長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能等

<労働時間について伺います>

問 9. あなたは貴医療機関の就業規則等に記載されている時間外労働時間に関する規程をご存じですか。（1つに○）

1. 知っている
2. 知らない

問 10. あなたの職場の労働時間の把握方法を教えてください。(1 つに○)

1. タイムレコーダー・タイムカード
2. ICカード
3. 電子カルテなどのログ
4. 出勤簿・管理簿
5. 自己申告
6. その他 ()
7. 労働時間を管理していない

問 11. あなたの令和元年6月の1か月間のおおよその時間外労働時間数(所定労働時間を超えて勤務した時間数。残業中の休憩時間など労働していない時間は除く)を教えてください。(1 つに○)

1. 45 時間以下
2. 45 時間超～80 時間以下
3. 80 時間超～100 時間以下
4. 100 時間超～

問 12. あなたの平成30年1年間のおおよその時間外労働時間数(所定労働時間を超えて勤務した時間数。残業中の休憩時間など労働していない時間は除く)を教えてください。(1 つに○)

1. 360 時間以下
2. 360 時間超～960 時間以下
3. 960 時間超～1860 時間以下
4. 1860 時間超～

問 13. あなたの令和元年6月の1か月間のおおよその時間外労働時間数のうち、時間外労働と申告しなかったおおよその時間を教えてください。(全て申告している場合は0を記入)(数字を記入)

おおよそ () 時間を申告していない

問 14. あなたの令和元年6月の1か月間の時間外労働の主な理由を教えてください。(該当するものすべてに○)

1. 緊急対応
2. 手術や外来対応等の延長
3. 記録・報告書作成や書類の整理
4. 会議・勉強会・研修会等への参加
5. 他職種・他機関との連絡調整
6. 勤務開始前の準備
7. その他(具体的に:)

問 15. あなたは、普段、時間外労働時間を時間外労働時間どおり申告していますか。(1 つに○)

1. 時間外労働時間どおり申告している ⇒問 15-2 へ
2. 時間外労働時間どおり申告していない ⇒問 15-1 へ

問 15-1. あなたが、時間外労働時間を時間外労働時間どおり申告しない理由を教えてください。(該当するものすべてに○)

1. 職場に残業を申告しづらい雰囲気があるから
2. 残業と認められない業務だから
3. 申告できる残業時間の上限が決められているから
4. 自分の都合や、自分のこだわりのために残業をしたから
5. 仕事が未熟でほかの人より時間がかかるから
6. 申告するのが面倒だから
7. 申告するのを忘れてしまうから
8. 申告の方法を知らないから
9. 時間外労働時間が短かったから
10. 年俸制だから
11. その他 ()

→10 を回答した場合は、何時間残業が含まれているかご存じですか。

知っている () 時間・知らない

問 15-2. あなたが申告した時間外労働時間に対し、時間外労働手当は支払われていますか。

(1 つに○)

1. タイムレコーダー・タイムカード・IC カード・電子カルテのログ等の記録のとおり支払われている (制限なし)
2. 自己申告した時間どおり支払われている (制限なし)
3. 上限時間が決められており、それを上回る時間については支払われていない
4. 上司が時間外労働を認めたとき以外は支払われていない
5. 年俸制であり時間外労働手当が含まれている
6. 時間外労働手当は支払われていない
7. その他 ()
8. わからない

<休日・休暇について伺います>

問 16. あなたの**令和元年 6 月**の①**所定休日日数**（※）及び②**実際に業務を休んだ日数**を教えてください。（数字を記入）

※：所定休日日数とは病院・診療所が就業規則等で定めた休日のこと。

- ①**所定休日日数** 1. () 日 2. わからない
②**実際に業務を休んだ日数** () 日

問 17. あなたの**平成 30 年度**の①**年次有給休暇の付与日数**（※）と②**有給取得日数**を教えてください。（数字を記入）

※：年次有給休暇の付与日数とは、1年ごとに雇用主から新たに付与された有給休暇の日数のことで、前年度からの繰越分を含めない。

- ①あなたに付与された**年次有給休暇日数** 1. () 日 2. わからない
②あなたが取得した**年次有給休暇日数** () 日

【一般の労働者の場合の例】

継続勤務年数	0.5	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	6.5以上
付与日数	10	11	12	14	16	18	20

問 18. あなたは主とする勤務先以外で定期的にアルバイトを行っていますか。（1つに○）
1. 行っている 2. 行っていない

→1 を回答した場合は、1か月あたりおよそ何日、合計何時間行っていますか。
() 日 () 時間・わからない

→1 を回答した場合、アルバイトを行っていることを主契約の医療機関等に届け出ていますか。
(1つに○)

1. アルバイト先、時間ともに届け出ている 2. アルバイト先のみ届け出ている
3. 時間のみ届け出ている 4. 届け出していない
5. 主契約先がわからない

<当直・夜勤等について伺います>

<看護職のみ対象>

問 19. 令和元年 6 月の①夜勤（※）・②オンコールの当番日数を教えてください。なお、令和元年 6 月の途中で夜勤専従期間が開始または終了した方は、夜勤専従期間以外の回数を入力して下さい。（夜勤、オンコールの当番がなかった場合は 0 を記入）（数字を記入）

① 夜勤		②オンコール	
	回		回

アラート文：
6 月の実施した回数です。30 回を超えることはありません。

※：夜勤とは法定労働時間内で夜間に勤務することを指しており、宿直（電話の対応や巡回、非常事態に備えての待機など、ほとんど労働する必要のない勤務のこと）とは異なる。

（問 19 で①に 1 以上の数値を入力した場合にのみ問 19-1 を表示）

問 19-1. あなたの令和元年 6 月の夜勤勤務について伺います。①令和元年 6 月の 1 か月間のおおよその総夜勤時間数、及び、問 3 で回答した主な勤務形態における夜勤の②勤務割上（※）の 1 回あたりの平均夜勤時間数と③実際の 1 回あたりの平均夜勤時間数（夜勤を行った際の時間外労働時間を含む。）を教えてください。（数字で記入）

① 1 か月間のおおよその総夜勤時間数 () 時間 () 分

② 勤務割上 1 回の平均夜勤時間数 () 時間 () 分

うち、平均休憩・仮眠時間数 () 時間 () 分

③ 実際の 1 回の平均夜勤時間数 () 時間 () 分

うち、平均休憩・仮眠時間数 () 時間 () 分

※：シフト表上や勤務計画表上のこと。

問 20. あなたの令和元年 6 月のある勤務日の勤務の開始から勤務の終了までの時間が最も長い時間（職場に最も長くいた時間）について伺います。①当直（宿直・日直）時間を含む、勤務割上（※）の最長拘束時間と②その時の実際の労働時間数（休憩を除く、宿直・日直時における勤務時間を含む）を教えてください。（数字を記入）

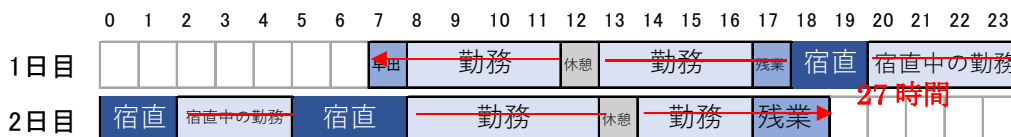
- ①当直（宿直・日直）時間を含む最長拘束時間 約（ ）時間（ ）分
 ②①の実際の労働時間（休憩を除く、宿直・日直時における勤務時間を含む）
 約（ ）時間（ ）分

①最長拘束時間の例：33時間



②①における実際の労働時間の例：27時間

（勤務時間に宿直で実際に休んだ時間と実際の休憩を除き、残業を加えた時間）

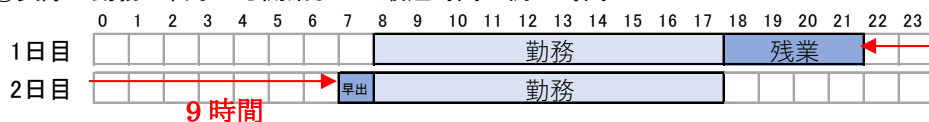


※：シフト表上や勤務計画表上のこと。

問 21. あなたの令和元年 6 月のある勤務日の勤務（時間外労働を含む。）の終了から次の勤務の開始までの間隔が最も短い時間について伺います。①令和元年 6 月の勤務割上の最短時間と②実際の最短時間を教えてください。（数字を記入）

- ①勤務割上の最短時間 約（ ）時間（ ）分
 ②実際の最短時間 約（ ）時間（ ）分

②実際の勤務の終了から開始までの最短時間の例：9時間



問 21-1. あなたは、問 21 で回答したような短い間隔になることが、月にどのくらいありますか。（1つに○）

- よくある
- ときどきある
- めったにない

<勤務環境等について伺います>

問 22. あなたのこの1か月間の睡眠の状況について教えてください。(1つに○)

1. 睡眠は十分にとれていた
2. 睡眠は比較的とれていた
3. どちらともいえない
4. 睡眠はあまりとれていなかった
5. 睡眠は不足していた

問 23. あなたは時間外労働時間を減らしたいと考えていますか。(1つに○)

1. 減らしたい
2. どちらでもよい
3. 減らしたくない

3 を回答した場合、"減らしたくない"理由を教えてください

(最もあてはまるもの1つに○)

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1. 研鑽をつみたい | 4. 患者の状態を確認しないと気がすまない |
| 2. 生活費を確保したい | 5. 緊急時に対応したい |
| 3. 他の人より早く帰りたくない | 6. その他 () |

問 24. あなたの現在の健康状態について教えてください。(1つに○)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 健康である | 4. どちらかという健康ではない |
| 2. どちらかという健康である | 5. 健康でない |
| 3. どちらともいえない | |

問 25. あなたは平成 30 年度に健康診断を受診しましたか。(1つに○)

1. 受診した
2. 受診しなかった

2 を回答した場合、"受診しなかった"理由を教えてください ()

問 26. あなたは平成 30 年度にストレスチェックを受診しましたか。(1つに○)

1. 受診した
2. 受診しなかった

2 を回答した場合、"受診しなかった"理由を教えてください ()

問 27. あなたは平成 30 年度に、長時間労働にかかる医師による面接指導を受けましたか。(1つに○)

1. 受けた
2. 受けなかった

問 28. 以下に挙げる医療従事者の勤務環境改善に関する取組のうち、貴院で取り組んでおり、あなたが勤務環境改善の効果を感じている項目を教えてください。(該当するものすべてに○)

I 働き方・休み方改善

取 組		取 い り 組 ん で	効 果 が 高 い
労働時間管理	1. 時間外労働時間の削減に取り組んでいる	1	2
	2. 1回当たりの最長勤務時間の削減に取り組んでいる	1	2
	3. 年次有給休暇をはじめとする休暇の取得を促進している	1	2
	4. 夜勤負担の軽減（夜勤明けの早帰りの推進、夜勤者の配置人数の見直し、夜勤回数の制限、仮眠時間の確保等）を行っている	1	2
	5. 夜勤専従者への配慮（夜勤の時間・回数の制限等）を行っている	1	2
	6. 夜勤・交代制勤務の勤務間隔を適切に管理している	1	2
	7. 労働時間設定改善に関する労使間の話し合いの機会を設けている	1	2
	8. 勤務間インターバル制度(※)を導入している	1	2
勤務負担軽減	9. 補助職（医師事務作業補助者、看護補助者等）を配置している	1	2
	10. 正職員について多様な勤務形態（短時間勤務、短日勤務、交代制勤務、フレックスタイム制など）を活用している	1	2
	11. 当直（宿直・日直）明けの勤務者に対する配慮を行っている（連続当直を行わない、当直明けに日勤を入れない等）	1	2

8. で「取り組んでいる」と回答した方は、**インターバルの時間を記入してください。**
⇒ () 時間

※：前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間に一定時間以上の休息を確保する制度

勤務負担軽減	12. 夜勤、緊急時対応、オンコール対応等に対する給与・手当等の処遇を充実・改善している	1	2
	13. チーム医療や多職種連携（業務分担・連携の強化等・タスクシフト※）により負担軽減を図っている	1	2
	14. 電子カルテやタブレット端末等のICT、IOT技術を活用した業務効率化・省力化に取り組んでいる	1	2
	15. タスクシェア※※による負担軽減を図っている	1	2
	16. 地域の医療機関との連携（オープンシステム、外来機能の分担等）を推進している	1	2

※：例）医師が行っていた事務的作業を医師事務作業補助者がサポートするようになった

※※：例）複数主治医制を導入した

13. どのようなタスクシフトを行っていますか。()

15. どのようなタスクシェアを行っていますか。()

問 29. 働き方全般に関する満足度（1つに○）

1. 満足
2. どちらかという満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満

II 職員の健康支援

取組		取 い り る 組 ん で	効 果 が 高 い
職 員 の 健 康 支 援	17. 健康診断の事後措置（医療上の措置、就業上の措置、保健指導等）を実施している	1	2
	18. 職員の健康教育や身体的健康対策（生活習慣病対策等）に取り組んでいる	1	2
	19. 職員のメンタルヘルス教育研修を実施している	1	2
	20. 「心の健康づくり計画」を策定し、組織的・計画的にメンタルヘルス対策の取組を行っている	1	2
	21. 作業管理・作業環境対策（腰痛対策や眼精疲労対策等）に取り組んでいる	1	2
	22. 産業医を選任し、職員に周知している	1	2

問 30. 健康支援に関する満足度（1つに○）

1. 満足
2. どちらかという満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満

職員のハラスメント対策 いじめ・等	38. 職員へのいじめ・ハラスメントや患者等からの暴言・暴力・クレームへの対応窓口を設置している	1	2
	39. 職員へのいじめ・ハラスメント対策や患者等からの暴言・暴力・クレームへの対策に関する研修や、当該研修への職員参加の支援を行っている	1	2
風土・環境 整備	40. 職員の働く満足度の調査を行っている	1	2
	41. 職員向けに、院内に仮眠室や休憩室等を整備している	1	2
	42. 職員の地域活動への支援（ボランティア活動支援等）を実施している	1	2
人材着 の化	43. 定期的に職員の希望を把握し、配置や業務面の配慮をしている	1	2
	44. 複数主治医制を採用している	1	2

問 31. 働きやすさに関する満足度（1つに○）

1. 満足
2. どちらかという満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満

IV 働きがいの向上

	取組	取 い り る 組 ん で	効 果 が 高 い
キャリア形成支援	45. 施設外の研修への参加を支援している	1	2
	46. 学会への参加者に対し、勤務を免除する、通常勤務の時間を短くするなどの措置をとっている	1	2
	47. すべての職員のキャリア形成支援のために研修や子育てとの両立支援等に関する相談窓口の設置、情報提供等が実施されている	1	2
	48. 法人内での人事ローテーションが、キャリア形成支援の視点から適切に実施されている	1	2
	49. 専門資格の取得を支援する制度を設けている	1	2
休業後のキャリア支援	50. 産休・育休復帰後のキャリア形成の支援（業務経験や研修等の機会の付与、産休・育休経験者による相談対応等）を行っている	1	2
	51. 復職者が利用できる短時間正職員制度や有期契約職員制度が導入されている	1	2
	52. 産休・育休中の職員の円滑な復職の支援（e-learning、実技実習、託児所を併設した勉強会等）を行っている	1	2

問 32. 仕事の充実感・達成感に関する満足度（1つに○）

1. 満足
2. どちらかという満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満

問 33. 働き甲斐全般に関する満足度（1つに○）

1. 満足
2. どちらかという満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満

V. その他

取 組		取 い り 組 ん で	効 果 が 高 い
そ の 他	53. 患者満足度の調査を行っている	1	2
	54. 子育て等により配慮を受ける職員とその他の職員の公平感に留意した適切な業務分担や処遇となっている	1	2
	55. 定年退職者の再雇用に積極的に取り組んでいる	1	2
	56. 医師や看護師に対し、賠償保険に加入するよう積極的に働きかけている	1	2
	57. 通常診療時間外の病状説明は避けるなど患者家族に働き方改革の理解を求めている	1	2
	58. その他 ()	1	2

問 34. 勤務環境全般に関する満足度（1つに○）

1. 満足
2. どちらかという満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満

以上でアンケート調査は終了です。

ご協力ありがとうございました。